【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成23年7月14日(2011.7.14)

【公開番号】特開2009-290762(P2009-290762A)
【公開日】平成21年12月10日(2009.12.10)
【年通号数】公開・登録公報2009-049
【出願番号】特願2008-143445(P2008-143445)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/91　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/76　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/85　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　20/10　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　27/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/91　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　5/76　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　5/85　Ｚ
Ｇ１１Ｂ　20/10　３１１
Ｇ１１Ｂ　27/00　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成23年5月30日(2011.5.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
動画データのクリップと前記クリップの管理情報とを記録媒体に記録する記録手段と、
次のクリップが連続して再生可能であることを識別するためのシームレス情報を生成する生成手段と、
前記記録媒体の特徴に対応した手順で、前記管理情報に前記シームレス情報を付加する処理を制御する制御手段とを備えることを特徴とする記録装置。
【請求項２】
前記制御手段は、前記記録媒体が内蔵の記録媒体である場合、一つのクリップの記録終了に応じて、前記一つのクリップに関するシームレス情報を前記一つのクリップに関する管理情報に付加して前記記録媒体に記録するように前記記録手段を制御することを特徴とする請求項１に記載の記録装置。
【請求項３】
前記制御手段は、前記記録媒体が書きかえ可能な記録媒体である場合、一つの前記クリップの記録終了時には前記一つのクリップの管理情報に前記シームレス情報を付加せずに前記一つのクリップの管理情報を記録し、次のクリップの記録に応じて、前記一つのクリップに関するシームレス情報を前記記録媒体に記録されている前記一つのクリップの管理情報に付加するように前記記録手段を制御することを特徴とする請求項１に記載の記録装置。
【請求項４】
前記制御手段は、前記記録媒体がライトワンスの記録媒体である場合、一つの前記クリップの記録終了時には前記一つのクリップの管理情報を記録せずに前記一つのクリップに

関するシームレス情報を生成しておき、次のクリップの記録に応じて、前記一つのクリップに関するシームレス情報が付加された前記一つのクリップに関する管理情報を前記記録媒体に記録するように前記記録手段を制御することを特徴とする請求項１に記載の記録装置。
【請求項５】
前記制御手段は、前記一つのクリップの記録終了時には前記管理情報に前記シームレス情報を付加してメモリに記憶しておき、次のクリップの記録に応じて、前記一つのクリップに関するシームレス情報が付加された前記一つのクリップに関する管理情報を前記記録媒体に記録するように前記記録手段を制御することを特徴とする請求項４に記載の記録装置。
【請求項６】
前記制御手段は、次のクリップが記録されずに前記記録媒体の取り出し指示を受けた場合、前記メモリに記憶された管理情報から前記シームレス情報を削除し、シームレス情報が削除された前記管理情報を前記記録媒体に記録するように前記記録手段を制御することを特徴とする請求項５に記載の記録装置。
【請求項７】
前記制御手段は、第１のクリップの記録終了に応じて、前記第１のクリップに関するシームレス情報を前記第１のクリップに関する管理情報に付加して前記記録媒体に記録する第１の手順と、第２の前記クリップの記録終了時には前記第２のクリップの管理情報に前記シームレス情報を付加せずに前記第２のクリップの管理情報を記録し、次のクリップの記録に応じて、前記第２のクリップに関するシームレス情報を前記記録媒体に記録されている前記第２のクリップの管理情報に付加する第２の手順と、第３の前記クリップの記録終了に応じて前記第３のクリップに関するシームレス情報を生成し、次のクリップの記録に応じて、前記第３のクリップに関するシームレス情報を前記第３のクリップに関する管理情報に付加して前記記録媒体に記録する第３の手順の何れかを前記記録媒体の特徴に基づいて選択することを特徴とする請求項１に記載の記録装置。
【請求項８】
前記シームレス情報は、前記次のクリップの識別情報を含むことを特徴とする請求項１から７の何れか１項に記載の記録装置。
【請求項９】
動画データのクリップと前記クリップの管理情報とを記録媒体に記録する記録工程と、
次のクリップが連続して再生可能であることを識別するためのシームレス情報を生成する生成工程と、
前記記録媒体の特徴に対応した手順で、前記管理情報に前記シームレス情報を付加する処理を制御する制御工程とを備えることを特徴とする記録方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は記録装置及び記録方法に関し、特に、ファイルシステムを有する複数の異なった記録媒体に動画像データを記録するために用いて好適な技術に関する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
本発明の記録装置は、動画データのクリップと前記クリップの管理情報とを記録媒体に

記録する記録手段と、次のクリップが連続して再生可能であることを識別するためのシームレス情報を生成する生成手段と、前記記録媒体の特徴に対応した手順で、前記管理情報に前記シームレス情報を付加する処理を制御する制御手段とを備えることを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
本発明の記録方法は、動画データのクリップと前記クリップの管理情報とを記録媒体に記録する記録工程と、次のクリップが連続して再生可能であることを識別するためのシームレス情報を生成する生成工程と、前記記録媒体の特徴に対応した手順で、前記管理情報に前記シームレス情報を付加する処理を制御する制御工程とを備えることを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】